

慶応版 ウィスコンシンカード分類検査 **KWCST** (三京房)

編著：鹿島晴雄（国際医療福祉大学）加藤元一郎（慶応義塾大学）

<p>テストの標的</p>	<p>前頭葉の脳高次機能障害の症状である概念／セットの転換障害を評価する検査です。本検査は「色」「形」「数」の3つの分類カテゴリーでカードを分類する検査で、被験者とテスターが対峙しながら検査を進めます。カードには赤、緑、青の1～4個の三角、星、十字、丸の図形が描かれ、反応カードは48枚で同一のカテゴリーが連続して出現しない順序に並べられています。</p> <p>形教示の与え方は2段階で、CA（達成カテゴリー数）、PEN（ネルソン型保続性の誤り）、DMS（セットの維持困難）。言語による行為の制御障害（IVR）の評価も行えます。</p> <p>タイプA評価用紙はカーボン式3枚綴りで正確に採点できます。タイプB評価用紙は検査に習熟したテスター向きです。</p>
<p>適用年齢</p>	
<p>実施時間</p>	
<p>用紙・用具</p>	<p>慶応版ウィスコンシンカード分類検査セット 20,000円</p> <p>①カード 1組（刺激カード4枚、反応カード48枚） ②タイプA評価用紙 30部 ③マニュアル 1冊 ④用箋挟 ⑤収納ケース</p> <p>タイプA評価用紙（30部） 8,000円 タイプB評価用紙（100枚） 4,000円</p>